



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社 ユビキタスAI 上場取引所 東  
コード番号 3858 U R L <https://www.ubiquitous-ai.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 大吉 裕太  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部 部長 (氏名) 田中 俊介 T E L 03-5908-3451  
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
2026年3月期中間期	百万円 1,784	% 2.1	百万円 △155	% —	百万円 △179	% —	百万円 △191	% —
2025年3月期中間期	1,748	40.7	△98	—	△98	—	△68	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 △173百万円 (−%) 2025年3月期中間期 △83百万円 (−%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2026年3月期中間期	円 銭 △18.28	円 銭 —
2025年3月期中間期	△6.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期中間期	百万円 2,998	百万円 2,222	% 74.1
2025年3月期	3,450	2,396	69.4

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 2,222百万円 2025年3月期 2,396百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、さらなる収益基盤の強化及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実を図っていく必要があることから、誠に遺憾ながら、無配を継続させて頂きます。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 4,349	% 5.1	百万円 6	% △93.8	百万円 5	% △94.6	百万円 △23	% —

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	10,459,000株	2025年3月期	10,459,000株
2026年3月期中間期	117株	2025年3月期	117株
2026年3月期中間期	10,458,883株	2025年3月期中間期	10,458,883株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における売上高は1,784,591千円となりました。  
なお、2025年5月20日公表の通期業績予想に対し41.0%の進捗となりました。

当社グループの報告セグメントは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ソフトウェアプロダクト事業」、「ソフトウェアディストリビューション事業」、「ソフトウェアサービス事業」及び「データアナリティクス事業」の4つを報告セグメントとしておりましたが、当中間連結会計期間より、「ソフトウェアプロダクト事業」、「ソフトウェアディストリビューション事業」及び「ソフトウェアサービス事業」を「ソフトウェア事業」として統合し、「データアナリティクス事業」を「アナリシスソフトウェア事業」に名称を変更したうえで、2つのセグメントに変更しております。

これは、2025年6月に公表した「中期経営計画」（2026年～2028年）を踏まえて、事業セグメントについて改めて検討した結果、当社グループの事業戦略は、顧客のソフトウェアニーズに対して全方位的な支援を行うビジネスモデルに変革しており、当該事業戦略の実行のための組織体制の統合及び経営管理体制の見直しの実態を踏まえ、「ソフトウェア事業」及び「アナリシスソフトウェア事業」の2つの報告セグメントが適切であると判断したことによるものであります。

なお、各事業における収益の分解については、企業の実態に即し、財務諸表の利用者にとって有用な情報を提供することを目的として、財又はサービスの種類に基づき、従来どおりの区分に従って、ソフトウェア事業における製品・サービスとして、「ソフトウェアプロダクト領域」、「ソフトウェアディストリビューション領域」、「ソフトウェアサービス領域」とし、「アナリシスソフトウェア事業」における製品・サービスとして、「データアナリティクス領域」の4区分に分類しております。

「ソフトウェアプロダクト領域」は、組込みネットワーク、セキュリティ&リアルタイムOS関連製品、高速起動製品、データベース製品等の主に自社開発によるデバイス組込み用ソフトウェア等に関する製品・サービス領域であります。

「ソフトウェアディストリビューション領域」は、海外ソフトウェアの輸入販売及びテクニカルサポート等に関する製品・サービス領域であります。

「ソフトウェアサービス領域」は、組込みソフトウェア等の受託を中心とした各種ソフトウェアの設計、開発及びデータコンテンツのライセンス等に関する製品・サービス領域であります。

「データアナリティクス領域」は、統計・数値データ解析ソフトウェア等における海外ソフトウェアの輸入販売及びテクニカルサポート等に関する製品・サービス領域であります。

製品・サービス別の売上高は、以下のとおりであります。

製品・サービス別	当中間連結会計期間		前中間連結会計期間		増減率 (%)
	売上高 (千円)	売上割合 (%)	売上高 (千円)	売上割合 (%)	
ソフトウェアプロダクト領域	374,026	21.0	352,891	20.2	6.0
ソフトウェアディストリビューション領域	624,670	35.0	628,990	36.0	△0.7
ソフトウェアサービス領域	402,777	22.6	414,487	23.7	△2.8
データアナリティクス領域	383,118	21.5	352,135	20.1	8.8
合計	1,784,591	100.0	1,748,503	100.0	2.1

#### ・ソフトウェアプロダクト領域

当領域は、高速起動製品における国内外の車載機器関連及び海外民生機器の既存顧客からのロイヤルティ売上、また、セキュリティ製品及びデータベース製品における産業機器の既存顧客からのロイヤルティ売上、さらに、音声コードUni-Voice（ユニボイス）製品における印刷関連の既存顧客から行政関連に伴うロイヤルティ売上を中心に、売上高374,026千円（前年同期比6.0%増）となりました。この増加要因は、前年同期と比べて、Uni-Voiceの行政関連の需要増などによるロイヤルティ売上が増加したことによるものです。

・ソフトウェアディストリビューション領域

当領域は、BIOS、Bluetooth、ソフトウェア解析・開発効率化ツール及びネットワークマネジメント等の海外製品における既存顧客からのロイヤルティ及び受託開発売上、また、セキュリティ検証ツール・サービスの既存及び新規顧客へのライセンス販売並びに受託開発売上を中心に、売上高624,670千円（前年同期比0.7%減）となりました。この減少要因は、ネットワークマネジメント製品の既存顧客向けライセンス売上が前年度に前倒しで計上した影響により減少いたしました。

・ソフトウェアサービス領域

当領域は、既存顧客からの各種受託開発売上、データコンテンツ「YOMI」に関する車載機器向けを中心としたライセンス売上により、売上高402,777千円（前年同期比2.8%減）となりました。この減少要因は、前年同期と比べて、グレープシステム社における受託開発売上の減少によるものです。

・データアナリティクス領域

当領域は、一般企業への化学系データベース及び画像解析ソフトの販売増により、売上高383,118千円（前年同期比8.8%増）となりました。

これらの結果、ソフトウェア事業は、売上高1,401,473千円（前年同期比0.4%増）、セグメント損失166,029千円（前年同期は92,830千円の損失）、アナリシスソフトウェア事業は、売上高383,118千円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益10,493千円（前年同期は5,185千円の損失）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は売上高1,784,591千円（前年同期比2.1%増）、営業損失155,536千円（前年同期は98,015千円の損失）、営業外費用として支払手数料（社内調査委員会による外部法律事務所等への調査関連費用）24,046千円を計上したことにより、経常損失179,220千円（前年同期は98,038千円の損失）、親会社株主に帰属する中間純損失191,181千円（前年同期は68,066千円の損失）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における資産は、2,998,882千円（前連結会計年度比451,595千円減）となりました。これは主に、投資有価証券が25,890千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が455,794千円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は、776,016千円（前連結会計年度比278,412千円減）となりました。これは主に、買掛金が146,677千円、未払金が71,010千円、未払消費税等が39,714千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、2,222,866千円（前連結会計年度比173,182千円減）となりました。これは主に、利益剰余金が191,181千円減少したことによるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は1,356,729千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は71,907千円（前年同期は200,462千円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失179,220千円、営業債務の減少額146,677千円、未払金の減少額56,218千円により資金が減少した一方で、売上債権の減少額456,242千円により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は38,413千円（前年同期は54,369千円の増加）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出22,562千円、投資有価証券の取得による支出15,000千円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は18,270千円（前年同期は192,232千円の減少）となりました。これは、長期借入金の返済による支出18,270千円により資金が減少したことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月20日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	1,346,054	1,356,729
受取手形及び売掛金	1,035,037	579,243
商品及び製品	10,172	3,207
仕掛品	8,225	30,340
前払費用	83,427	79,240
未収還付法人税等	—	390
その他	30,439	15,187
流动資産合計	2,513,353	2,064,334
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	62,888	60,899
工具、器具及び備品（純額）	29,562	31,525
有形固定資産合計	92,450	92,424
無形固定資産		
ソフトウエア	52,142	70,039
のれん	348,407	301,402
その他	293	248
無形固定資産合計	400,841	371,688
投資その他の資産		
投資有価証券	265,341	291,230
差入保証金	135,306	135,306
繰延税金資産	40,357	41,519
その他	2,828	2,380
投資その他の資産合計	443,832	470,435
固定資産合計	937,123	934,547
資産合計	3,450,476	2,998,882

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	305,387	158,711
1年内返済予定の長期借入金	28,590	47,144
未払金	119,218	48,208
未払費用	37,124	28,420
未払法人税等	45,153	17,424
未払消費税等	52,132	12,418
契約負債	100,849	127,476
賞与引当金	28,000	26,000
その他	14,263	16,005
<b>流動負債合計</b>	<b>730,717</b>	<b>481,805</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	36,824	—
退職給付に係る負債	226,371	217,932
資産除去債務	39,498	40,829
繰延税金負債	19,341	33,937
その他	1,678	1,513
<b>固定負債合計</b>	<b>323,712</b>	<b>294,211</b>
<b>負債合計</b>	<b>1,054,428</b>	<b>776,016</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>1,483,482</b>	<b>1,483,482</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1,453,482</b>	<b>1,453,482</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>△650,421</b>	<b>△841,602</b>
<b>自己株式</b>	<b>△121</b>	<b>△121</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>2,286,423</b>	<b>2,095,242</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>109,625</b>	<b>127,624</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>109,625</b>	<b>127,624</b>
<b>純資産合計</b>	<b>2,396,048</b>	<b>2,222,866</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,450,476</b>	<b>2,998,882</b>

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,748,503	1,784,591
売上原価	1,069,905	1,101,761
売上総利益	678,598	682,830
販売費及び一般管理費	776,613	838,365
営業損失（△）	△98,015	△155,536
営業外収益		
受取利息	133	935
受取配当金	1,483	1,657
為替差益	343	—
その他	—	12
営業外収益合計	1,960	2,604
営業外費用		
支払利息	1,313	415
支払手数料	—	24,046
為替差損	—	1,491
投資事業組合運用損	670	336
営業外費用合計	1,983	26,288
経常損失（△）	△98,038	△179,220
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	45,465	—
特別利益合計	45,465	—
特別損失		
固定資産除却損	2,792	—
投資有価証券評価損	5,152	—
特別損失合計	7,944	—
税金等調整前中間純損失（△）	△60,516	△179,220
法人税、住民税及び事業税	1,100	6,788
法人税等調整額	6,450	5,173
法人税等合計	7,550	11,961
中間純損失（△）	△68,066	△191,181
親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△68,066	△191,181

## (中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失（△）	△68,066	△191,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,184	17,998
その他の包括利益合計	△15,184	17,998
中間包括利益	△83,250	△173,182
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△83,250	△173,182

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純損失（△）	△60,516	△179,220
減価償却費	14,964	12,255
のれん償却額	47,005	47,005
役員退職慰労引当金戻入額	△45,465	—
投資有価証券評価損益（△は益）	5,152	—
受取利息及び受取配当金	△1,616	△2,592
支払利息	1,313	415
売上債権の増減額（△は増加）	576,356	456,242
棚卸資産の増減額（△は増加）	△21,018	△15,149
前払費用の増減額（△は増加）	△7,993	4,187
営業債務の増減額（△は減少）	△197,122	△146,677
未払金の増減額（△は減少）	△53,521	△56,218
未払費用の増減額（△は減少）	△5,094	△8,705
未払又は未収消費税等の増減額	△41,248	△39,714
契約負債の増減額（△は減少）	△8,655	26,462
預り金の増減額（△は減少）	△8,676	2,919
その他	10,064	370
<b>小計</b>	<b>203,928</b>	<b>101,580</b>
利息及び配当金の受取額	1,616	2,585
利息の支払額	△1,480	△415
法人税等の支払額	△22,437	△31,844
法人税等の還付額	18,835	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>200,462</b>	<b>71,907</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,217	△5,857
無形固定資産の取得による支出	△8,193	△22,562
定期預金の払戻による収入	65,553	5,006
投資有価証券の取得による支出	—	△15,000
差入保証金の差入による支出	△774	—
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>54,369</b>	<b>△38,413</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額（△は減少）	△161,780	—
長期借入金の返済による支出	△30,452	△18,270
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△192,232</b>	<b>△18,270</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△807	451
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	61,792	15,675
現金及び現金同等物の期首残高	1,401,217	1,341,054
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,463,009	1,356,729

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。